



ダンサー

うえむらがあな 植村賀亜奈さん・たかいわなな 高岩七菜さん

Profile

植村さん(左)は2010年、高岩さん(右)は2008年藤岡市生まれ。母親の影響で幼少期からダンスを始める。HAKUOH DANCE CONTEST 2026 OPEN 部門優勝。

母から受け継いだ、情熱で魅せる

「おはようございますー」スタジオに入るとよく通る声が響きます。ダンスのレッスンを受ける中で培われた礼儀正しさが印象的な高岩さんと植村さん。高岩さんは母が経営するダンススタジオで、植村さんは過去にダンスをしていた母の影響で、共に4歳からダンスを始めました。2人は、コンテストチームとして昨年からペアを組み、「琥珀」という名前で活動しています。

一昨年から6人グループで一緒に活動をしていた2人。「琥珀」には、メンバーカラーが黄色の高岩さんと赤色の植村さんの2色を混ぜ合わせ、「2人の積み重ねた努力や思いが唯一無二の輝きになりますように」との思いが込められています。

2人は、コンテストでの優勝を目指して、日々ダンスの練習に励んでいます。今年3月に白鷗大学で開催されたHAKUOH DANCE CONTEST 2026ではついに優勝を果たしました。「いつもより短期間の練習で本番を迎えたが、2人で一つのダンスを作り上

げることができて楽しかった」と語る高岩さん。「ダンススタイルが異なるため、足の開き方や首の角度まで一つ一つそろえることが大変だった」と、植村さんは一生懸命練習に励んだ日々を振り返ります。コンテストの感想を尋ねると、「現場はライブ感があり、目の前で他のチームのパフォーマンスを見ることが刺激的。他の大会で勝てなかった相手に勝つことができ、自信につながった」「今回のダンスの振り付けをしてくれた先生は自分の事のように喜んでくれた」と笑顔で話してくれました。

幼少期から日常の中にダンスがあった2人は、「ダンスを通して自己肯定感が上がった。人前に出ることには抵抗がなくなった」といいます。「初めてダンスに挑戦する人に楽しさを教えたい。母の仕事を身近に感じ、素敵だと思っていた」「将来はお世話になったダンススタジオで先生をした」と希望に満ちた表情で語る2人。母から受け継いだ情熱を未来の若者へつなぎ、地元藤岡をダンスの力で盛り上げてくれることでしょう。